

2007 年度

科目名 史学概論	対象学科・学年 文学部文財1回生	担当者 藤澤 典彦
授業テーマ 歴史とその方法		
授業の概要と目標 古代から近代史学成立までの史学史的検討を通じて、人間にとって歴史はいかなる意味を有してきたのかについて考え、歴史的視点の有効性と限界について考える。		
評価方法 期末のテスト or レポートにより評価する。		
テキスト 使用しない。	著者	出版社
参考書 特になし。授業中に紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 歴史とは何か 2. 口承の歴史 3. 神話から歴史へ 4. 古代の歴史思想（司馬遷、ヘロドトスとトゥキユディデス） 5. 日本古代の歴史（律令国家と六国史） 6. 日本中世の歴史書と歴史観（愚管抄から太平記） 7. 日本近世の歴史書と歴史観（藩史の成立、新井白石、儒学・国学） 8. 日本近代歴史学の成立（新しい古代史観） 9. 西洋近代の歴史観 10. 実証主義史学の役割と限界 11. 諸学問と歴史学 12. 時代とは何か 13. 社会史とは何か 14. 神話化する歴史 15. まとめ		